事例No.	1358
公表年度	R2
団体の属性	都道府県
団体名	滋賀県

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・適切な資産管理

事例種類	長寿命化事業＋ユニバーサルデザイン化事業

事例内容・タイトル

滋賀県立近代美術館老朽化対策（リニューアル）事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

長寿命化事業＋ユニバーサルデザイン化事業

事業の概要

滋賀県（人口141.3万人）「滋賀県立近代美術館老朽化対策（リニューアル）事業」

滋賀県立近代美術館を「人と作品の安全を守る」「みんなにやさしく使いやすい」等の観点から再開館するための整備を行う。

事業のポイント

補助事業、起債事業を効果的に活用しながら、リニューアルオープンにふさわしい施設の改善を行う。

「人と作品の安全を守る」

・空調機器更新、屋根の一部改修
（長寿命化事業、耐用年数：50年→65年）

「みんなにやさしく使いやすい」

・トイレの洋式化、授乳室、ファミリートイレ整備（ユニバーサルデザイン化事業）

※ このほか、展示室内装の張り替えやLED照明の導入、ガス消火設備の導入等を予定（公適債非充当）

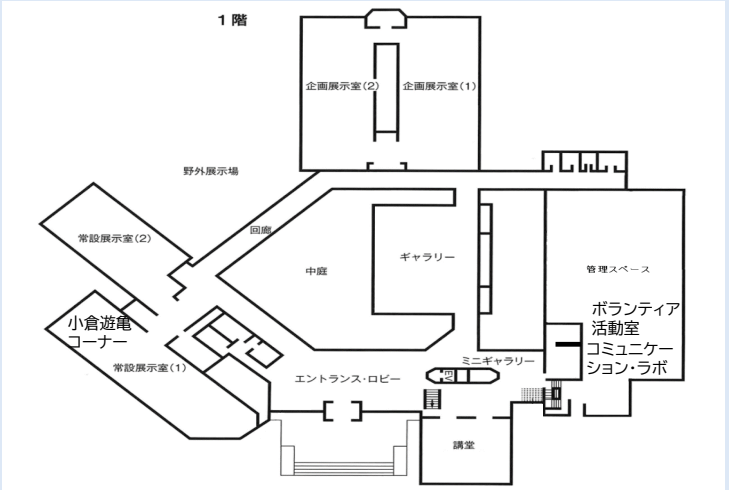
事業実施期間：R元～R2年度
総事業費1.5億円



滋賀県立近代美術館

長寿命化事業

■老朽化した空調機器の更新
■エントランス・ロビー天井の耐震化

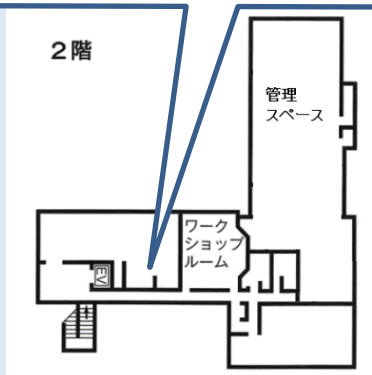


ユニバーサルデザイン化事業

■各トイレの全面改修（洋式化）
■授乳室や親子で使えるファミリートイレの新設



新設する授乳室



事業の効果

○ 屋根の一部改修、空調機器の更新、ガス消火設備の導入等により、人と作品の安全を守るとともに、施設の長寿命化を図る。
○ トイレ等のユニバーサルデザイン化により、だれもが使いやすい施設となる。
○ 展示室やエントランスロビー等の改修を伴うリニューアルオープンにより、「美の滋賀」の拠点として地域の活性化に寄与する。